

小田原支部報

令和3年1月31日発行

小田原支部長年頭の挨拶



小田原支部長 境 隆志

令和3年を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新しい年の挨拶ではありながら、昨年から世界中が新型コロナウイルス感染に翻弄され、新年早々から緊急事態宣言が発出されました。皆様には、感染対策にしっかりと留意戴き、くれぐれもご自愛くださるようお願い致します。

この感染症により、生活は一変し、ほとんどの支部活動が中止になってしまいました。一人一人の忍耐と自粛、人類の英知によりこの状況は必ず乗り越えられると信じています。

この自粛の制約のなかで、我々に支援を求める地域の方たちからの要請は増えていくものと思われま。また6月には改正行政書士法が施行されます。更にはデジタル庁も新設されます。行政書士にとっては、新たな業務が増え、身近な法律家として、新たな地域の方々への支援業務が増加していくものと思われま。そのためにも、この自粛生活のなかで、一人一人がこの変化に対応できるよう自分を磨き切磋琢磨し、飛躍につなげていかれる事を祈念しております。

その飛躍につなげるためにも、この状況が改善されたお際には、また精力的に支部活動を再開いたしますので、皆様のご協力をお願い致しまして年頭の挨拶とさせていただきます。

お知らせ

次期支部長の自薦、他薦の募集について

今年は、支部長・役員改選の年にあたります。今までは役員会で決める慣習が続いており、先回の改選でももっと会員の希望を募るべきとのご意見を頂きました。広く自薦、他薦を募り、支部活動の刷新、役員若返りを目指し、是非とも我こそがと積極的な立候補をお願いする次第です。他薦の場合には、ご本人の意志を確認してご推薦ください。

3月15日までに、支部MLでの表明、支部長へのメールでも電話でも構いませんのでご連絡ください。立候補がない場合には、また役員会での決定になってしまいますので、ご了承ください。



お知らせ

新年会・四支部合同研修会中止の件

新年会は、何とか伸ばし伸ばしにしながらも、状況が好転すればと願っておりましたが、この事態では、一番危険な行動の一つとなりました。残念ながら中止と致します。

また3月に開催できないかと模索しておりました4支部合同研修会も、4支部長で相談し、この現状では無理して開催すべきではないとの合意に達しました。状況が好転するまで延期致します。

本会で採用した多人数のリモート研修は、数百人が同時に参加でき生配信ではありますが、通常のzoom会議のような講師、参加者が相対するような臨場感は望めず、採用は見送る事にいたしました。ご了承ください。

開催予定

南足柄市図書館セミナー

日時 令和3年3月14日(日) 午後2時～ 会場 南足柄市立図書館3階 視聴覚室
講師 小田原支部副支部長 小泉 伸先生 対象 一般の方
テーマ 「暮らしの課題講座～よくわかる!遺言書～」

※今の所ウイルス対策をして実施予定ですが、今後の状況により変更となる場合があります。

報告

小田原市民公開講座(かなさぼ主体、書士会共催)

新型コロナウイルス禍のなか、11月22日に生涯学習センターけやきにおいて恒例の市民公開講座を、感染対策を十分施した上で開催致しました。参加者の集まりが懸念されましたが、市・包括関係者を含めた市民14名の方々に出席戴きました。「ご存知ですか?成年後見制度」と題した市民公開講座は、成年後見制度の手続きについてのDVD鑑賞のあと、小田原西地区地区長の中條尚会員による「成年後見制度はどんな人に役立つか」という題目の講演で進められました。

講演は、講演者の実体験を交えながら成年後見制度の仕組みをはじめ、どのように活用すれば良いかを分かり易く説明する内容で、参加者の皆さんが時にうなずきながら真剣に耳を傾けている姿が印象的でした。講演後の質疑応答も活発で、被後見人の財源枯渇問題や成年後見制度自体の硬直性や使いづらさを指摘するなど具体的な内容もあり、成年後見制度の一般市民への浸透がかなり進んで来たことを実感致しました。また公開講座終了後、2組の市民からの相談があり、地区会員がそれぞれの確に対応致しました。毎年恒例の市民公開講座ですが、年々具体的でかつ細部にわたる内容や制度自体に関わる質や相談が増えて来ており、我々会員もなお一層の後見知識習熟とさらに成年後見制度の今後の動向について最新の情報を習得しておく必要性を肌で感じました。



<会員異動状況>

11月1日付 入会 加藤大輝会員 足柄下郡湯河原町中央5丁目15番地1号本館2階

《編集後記》

明けましておめでとうございます。令和3年1月号を発行させていただきます。このようなご時世で活動も中止が相次いでおりますが、一日も早く日常が戻りますことをご祈念申し上げます。今年もよろしく願い申し上げます。

(発行者名 広報委員 門松一湖

発行責任者 支部長 境隆志)